

GAIT&日本電気硝子、「超薄板ガラス」製振動板を OTOTEN に初出展

～超薄板ガラスと 3D 成形技術で“原音のリアリティ”を描くガラス振動板～

台湾のガラス加工メーカー Glass Acoustic Innovations Co., Ltd.（以下、GAIT）は、日本電気硝子株式会社（本社：滋賀県大津市、社長：岸本暁）と共同開発した「超薄板ガラス」製振動板を、2025 年 6 月 21 日（土）・22 日（日）に東京国際フォーラムで開催される日本最大級のオーディオイベント「OTOTEN 2025」に出展します。

本製品は、日本電気硝子の超薄板ガラスを GAIT が 3D 成形することで生まれた、新素材の振動板。軽量でしなやか、振動しやすいため、音のニュアンスを繊細に緻密に再現できる特長があり、オーディオ業界で注目を集めています。

GAIT ブースでは、振動板の展示に加え、デスクトップスピーカーやイヤホンでの試聴体験もお楽しみいただけます。



超薄板ガラスを用いた振動板

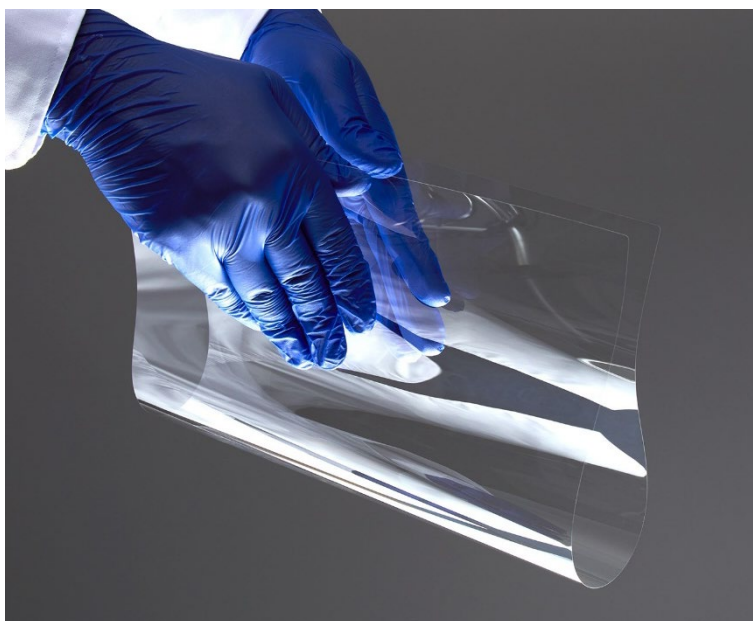
■「超薄板ガラス」を用いた振動板の特長

特殊ガラスである「超薄板ガラス」は、窓ガラスやコップに使われる一般的なガラスとは機能や性質が全く異なる素材です。超薄板ガラスをスピーカーの振動板に採用することで、以下のよ

うなメリットが生まれます。

- ・紙や金属などの既存素材に比べて音の立ち上がり※が速いため音が鮮明にクリアに届く
- ・素材自体に固有音が少なく（内部損失が高い）音の立ち下がり※が速いため音に歪みが少ない
- ・軽くて振動しやすく繊細な音のニュアンスを正確に表現できる
- ・ガラス表面を特殊な化学処理で強化しており、重低音の激しい振動にも耐える
- ・温度や湿度などの環境変化に強く、経年劣化しにくい

※「音の立ち上がり」とは、音が鳴り始めてからピークに達するまでの時間や反応の速さを指します。立ち上がりが速いと、音の輪郭がはっきりし、打楽器や弦楽器のアタック音が鮮明に再現されます。一方、「音の立ち下がり」とは、音が鳴り終わったあとにどれだけ速やかに音が消えるかを表します。立ち下がりが速いと、音が不要に残らず、次の音がクリアに聴こえるため、全体として歪みの少ない、引き締まった音になります。



超薄板ガラスは、折りたたみスマートフォンのディスプレイなどに採用されている高品質な特殊ガラスです

【当社ホームページ内 関連記事】

[次世代高音質スピーカーのカギは、ガラス振動板にあり](#)

■「OTOTEN2025」出展概要

展示会名：OTOTEN2025

会 期：2025年6月21日（土）～ 6月22日（日）

会 場：東京国際フォーラム 〒100-0005 東京都千代田区丸の内 3-5-1

ブース：ガラス棟 B1階 ロビーギャラリー

出展品：デスクトップスピーカー、ネックバンドスピーカー、イヤホン、
Bluetooth型携帯用スピーカー

来場事前登録サイト：<https://www.jas-audio.or.jp/audiofair/pre-registration>

【会社概要】

日本電気硝子株式会社は、滋賀県大津市に本社を置く、世界トップクラスの特殊ガラスメーカーです。新たな機能を生み出す特殊ガラスは、板や管、糸、粉末などさまざまな製品に姿を変え、半導体やディスプレイ、自動車、電子機器、医療、エネルギーなど多岐にわたる分野で活躍しています。当社が70年以上の歴史の中で磨き上げてきた技術と実績により開発された特殊ガラスは、暮らしのあたりまえから産業の最先端まで、幅広い分野で高い評価を受けています。

会社名 : 日本電気硝子株式会社

代表者 : 社長 岸本 暁

本社所在地 : 滋賀県大津市晴嵐二丁目7番1号

創立 : 1949年12月1日

事業内容 : 特殊ガラス製品の製造・販売およびガラス製造機械の製作・販売

URL : <https://www.neg.co.jp/>

以 上

日本電気硝子株式会社 〒520-8639 滋賀県大津市晴嵐二丁目7番1号

《リリース内容に関するお問い合わせ》

総務部 広報担当 電話 : 077-537-1702 (ダイヤルイン)

《製品に関するお問い合わせ》

[お問い合わせフォーム](#) へご連絡ください